

平成30年度藝大フレンズ賛助金助成事業

東京藝術大学澤和樹学長学術研究基金助成事業

東京藝術大学音楽学部音楽総合研究センター特別展示

音楽劇とは何か

—楽譜で見るオペラあるいは劇音楽の変遷—

開催期間：2018年9月3日（月）～9月9日（日）

各日10:30～16:30（最終入場16:00）入場無料

会場：東京藝術大学音楽学部音楽総合研究センター（音楽学部2号館）

※入り口は2階です。

◆特別コンサート◆

展示資料の一部を実演・解説いたします。展示と併せてお楽しみください。

9月8日(土) 12:00～/15:00～ 9月9日(日) 12:00～/15:00～

会場：音楽総合研究センター1階スペース(入り口は展示と同じく2階です。)

出演：中須美喜(ソプラノ)、山下裕賀(メゾソプラノ)

佐々木洋平(テノール)、齋藤州重(バリトン)、高橋健介(ピアノ)

※約1時間のプログラムです。※9/8(土)12時公演は藝大フレンズ会員優待です。

※予約不要ですが、定員(40名)を超えた場合は入場制限させていただく場合がございます。

※裏面も併せてご覧ください。

【お問い合わせ】 東京藝術大学音楽学部音楽総合研究センター

MAIL: onkenfriends2016@gmail.com, TEL: 050-5525-2379 (10:00-17:00)

【ホームページ】 <http://onken.geidai.ac.jp>

① 社会の風潮や人々の趣向を語ってきたオペラ、あるいは音楽劇。

音楽のあらゆるジャンルの中でも、物語を伴い大勢の人々の前で披露されたオペラ、あるいは劇を伴う音楽は、同時代に流行したものの、当時美しいとみなされたもの、その時世界で起こっていた出来事などを反映してきました。そしてそこには、いかなるかたちで物語を音楽にするか、いかに歌手や役者の声を舞台上で活かすかということについての、作曲家それぞれの答えがありました。この展示ではそんな各作曲家の「答え」を、楽譜を中心とした資料をたどって探ります。

展示資料はいずれもわかりやすい解説プレート／パネル付き。「普段劇場には足を運んでも、楽譜を開くことはあまりない…」という方にも、お気軽に楽しんでいただけます。

② 音楽総合研究センターの貴重資料を一般公開。

音楽劇の楽譜は、他の楽譜に比べて大型で印刷環境の限られたものが多いため、音楽総合研究センターに納められている資料についても、その多くが閲覧・公開の制約が課されています。この展示では、そうした資料を一般に公開し、皆さんが自由に手に取れる場を設けております。個人での所有は難しい作曲家全集や、上演機会の希少なオペラのスコア、自筆譜のファクシミリなどを、解説を見ながらゆっくりとご覧いただけます。

③ 展示をさらに楽しむための、特別コンサート付き。

楽譜やそれにまつわる資料は、上演されて初めて生きた芸術となります。この企画では4名の声楽家と1名のピアニストによって、展示資料の一部を会場1階のスペースにて実演いたします。「音楽劇とはどうあるべきか」を問うた作曲家達の、それぞれの「答え」を感じ取っていただければ幸いです。

9月8日(土) 12:00~13:00(藝大フレンズ会員優待)/15:00~16:00

9月9日(日) 12:00~13:00/15:00~16:00

※予約不要ですが、定員(40名)を超えた場合は入場制限させていただく場合がございます。

【出演者紹介】



中須美喜
(ソプラノ)



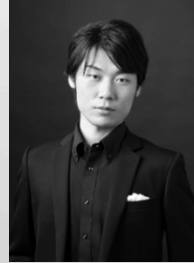
山下裕賀
(メゾソプラノ)



佐々木洋平
(テノール)



齋藤州重
(バリトン)



高橋健介
(ピアノ)

主な展示資料

- ◎G. F. ヘンデル、G. ヴェルディ、A. シェーンベルク、P. ヒンデミット 各全集よりオペラ・スコア
- ◎R. ワーグナー《トリスタンとイゾルデ》自筆譜ファクシミリ
- ◎B. ブリテン《ペーター・グライムズ》草稿ファクシミリと上演ノート
- ◎山田耕筰《夜明け》ヴォーカルスコア

【交通案内】 東京藝術大学(上野キャンパス)



- ・上野駅(公園口)・鶯谷駅 下車徒歩10分
- ・銀座線・日比谷線上野駅 下車徒歩15分
- ・千代田線・根津駅 下車 徒歩約10分
- ・京成上野駅 下車徒歩15分
- ・都営バス 上26系統(亀戸←→上野公園) 谷中バス停 下車徒歩約3分
- ・台東区循環バス 東西めぐりん 東京芸術大学バス停 下車すぐ